

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 31 日

事業所名 こども発達支援ハウス 叶

	チェック項目	評価	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆広すぎず、落ち着いて過ごすことができる広さだと思います。</li> <li>◆児童に対しての部屋の環境設定をして配慮しています</li> <li>◆一人で過ごしたい、静かな空間で落ち着きたいと思った児童に対しての環境設定は今後、更に気をつけていきたい。</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切である	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆個別支援がある児童に1×1としています。児童の症状に適切に対応しています！</li> <li>◆4月から新しいスタッフが入るため、それ以降で判断していきたい。</li> <li>◆多すぎても刺激になる場合があるので、適切な人数で対応しています。</li> </ul>
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆出入口は段差がある方とない方を、児童によって分けて使っています。</li> <li>◆雨が降る時の入口が傘を差しながら、部屋にはいるようにしています。</li> <li>◆児童が出入りする玄関については、児童ごとに通れる方に分けることや、階段の登り降りについては、低学年の児童が利用する時には必ずスタッフが1人つくようにしている。</li> </ul>
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆毎月2回の企画会議を行なっています。</li> <li>◆毎日のミーティングなどで、互いに話し合い、児童に対してよりよく配慮し、見通しをたてる</li> <li>◆毎月の企画会議、毎日のミーティング等を通して、各スタッフの意見、想いを共有し、目標設定と振り返りは十分に行えていると思う。今後も継続していきたい。</li> </ul>
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外部評価を取り入れ、保護者の意見などを耳を傾けて、児童に対して今後の支援に役立てて行きたい</li> <li>◆毎月の職員研修でお越し下さる講師の先生から、助言をいただき、業務に活かしているという点では、できていると思う。</li> </ul>
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆月に2回の研修を行っています。</li> <li>◆1ヶ月に2回の研修を受けています！繰り返しの研修を受けることで、勉強になりますし今後の自信にも繋がっています！</li> <li>◆自分から質問や意見の発表をする機会が少ないため、今後は積極的に意見を言うことに取り組んでいきたい。</li> </ul>
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆半年毎にプリントを配布していますが、日々の支援や送迎時などの会話の中で分析できるよう心がけています。</li> <li>◆アセスメントの大事さが、よくわかります。保護者の理解と協力、心配事、自立するまでの問題点など、相談にのりながらの作成。</li> <li>◆日々の関わりや送迎時の申し送り、モニタリングなどで得られる情報をもとに、支援の方針をスタッフ間、児童、保護者と共有していると思う。今後も続けていきたい。</li> </ul>
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆現時点の適応行動の児童、全員のツールを作り直さないと考えていますので、もう一度、見返したいと思います。</li> <li>◆標準化されたツールは使用していないが、児童の特性を考慮し、どの部分を重点的に見ていくのかについてはスタッフ間で情報を出し合ってアセスメントを行っているため、ツールの代用としては十分に機能していると思う。</li> <li>◆来年度は本格的にVineland-II適応行動尺度等を用いて取り組んでいきたい。また、受給者証切り替え時に行う強度行動障害児判断のプリントも参考にアセスメントを行っていききたいです。</li> </ul>

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画会議や日々のミーティングで話し合うようにしています。</li> <li>◆ミーティングなどで、話し合い、リーダーがまとめて理解をする。</li> <li>◆毎月行っている企画会議で全体の指針や、活動内容を決め、活動中に見られた改善点などを日々スタッフ間で共有し、活動に反映させていると思う。</li> </ul>
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆その日の利用する児童によって、人数や時間を工夫しています。</li> <li>◆障害内容に応じて、活動の内容を対応するスタッフの担当を決めて、活動の時間など計画しています。</li> <li>◆アセスメントから得られた情報や個別支援計画をもとに活動に反映させている。</li> </ul>
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆長期休暇は午前中に身体を動かす、午後は休める等、その時に応じて決めています。</li> <li>◆事前の前準備を欠かさないようにしています！</li> <li>◆児童の日々の様子を見た上で支援・活動内容を変更する場合もあるため、企画会議などで決まったことのみを行っているわけではない。</li> </ul>
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆集団活動のコミュニケーションサーキットなどの計画では、小集団に入れない児童の居場所など話しあって少しでも参加出来るように、配慮しています、担当を決める時も、主体的に動いてくれるように声掛けを心がけています！</li> <li>◆全員参加を目標にしています！</li> <li>◆自分は今から、個別支援計画を作成していくが、今までのスタッフが作成してきたものを見ても、子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス個別支援計画を作成していると思う。</li> </ul>
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆毎日ミーティングを行なっています。</li> <li>◆1番大事にしている場面です！スタッフ間でのコミュニケーションと内容を共有しています。</li> <li>◆改善目標として、スタッフの役割分担は今後、適切に振っていけるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆緊急のことはその日に行なっていますが、次の日のミーティングで話すこともあります。</li> <li>◆報告、連絡、相談を行い、問題や緊急時な時は特記として、責任者に連絡をしています！情報共有しています。</li> <li>◆送迎完了後にスタッフ間でその日の児童の様子を話しあい、共有している。</li> </ul>
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特に問題ある児童など、検証を時間をかけて支援していく必要がある</li> <li>◆実績記録の裏にある療育記録を記入している。今後は業務日誌も記入していきたい。</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆6ヶ月の計画をこまめに確認しながら、考えていく必要がある。児童に関わりながら、小さな活動などを観察して、今後の現場のかかわりに繋げていきたい。</li> <li>◆個別支援計画作成前に必ず、対面や電話でのモニタリングを行っている。</li> </ul>
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ガイドラインをなかなか確認する時間がなく反省もありながら今後は時間の余裕を持ちたいと思います。</li> <li>◆今後は、改めてガイドラインの総則の基本活動を確認し、支援に活かしていきたい。</li> </ul>

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆一番関わりが多い職員が出席するようにしています。また、職員によって見せる顔も違うため、事前に会議資料を作成し話し合っています。</li> <li>◆担当者会議には、児童の担当、支援しているスタッフが基本に参加しています！</li> <li>◆児童ごとに話す内容や情報をスタッフ間で出し合い、資料の作成や情報提供に活用している。また、場合によっては、相談支援員や他事業所の方と会議前に情報共有を行い、方針などを話し合うようにしている。</li> </ul>
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆引き継ぎ時や電話などで確認することもあります。行き違いがあることもあります。</li> <li>◆時間変更など、予定変更があった場合は、即、連絡を回しています。</li> <li>◆今後も継続していきたい。</li> </ul>
		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆通所している児童に対して、今後の仕事、生活面をよりよく理解してもらうように考え情報提供しています。</li> <li>◆モニタリングや担当者会議での情報提供は十分に行えていると思う。今後は、就労アセスメントについても早期に取り組んでいきたい。</li> </ul>
	22	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆協議会には、1年に2回、参加しています。</li> <li>◆こども部会や地域の講演会などには可能な限り足を運び、情報を得ている。得た情報をもとに支援に繋げている。</li> <li>◆令和6年度は自立支援協議会こども部会の部会長を叶が努めます。精進してまいります。</li> </ul>
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆日々の送迎時に引き継ぎを行うようにしています。</li> <li>◆保護者との申し送りなどは、詳しく聞いています。</li> <li>◆日々の送迎時の申し送りなどを通して、児童の状況を保護者と伝え合っている。子どもの発達の状況や課題についての共通理解は、できている点、できていない点があるため、児童一人ひとりのためにも今後より一層取り組んでいきたい。</li> </ul>
	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆支援の内容などは、送りの時に伝えていきます。負担等などのことは、お手紙を出してお知らせしています。</li> <li>◆少しでも不明な点があれば、スタッフで確認しあい、説明を行っている。</li> </ul>	
保護者への説	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆努力はしていますが、今後はもっと専門性を高めていきたいと思っています。</li> <li>◆保護者の相談や悩みなどは、耳を傾けて同調しながらも励ましています。助言や支援内容は、スタッフ、上司に相談しています。</li> <li>◆今後は情報提供の点について、多角的な情報を提供できるよう情報収集と勉強を行っていききたい。</li> </ul>
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆即、上司に連絡を入れるようにしています。</li> <li>◆時系列の整理や情報の精査(複数の児童が関わっている場合や事業所外部で起こったことが起因する場合などは関わっている全ての所に確認をとる)を行い、今後の対応をスタッフ間で話し合い、お伝えしている。</li> </ul>
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆月の行事や活動内容は、早めに伝えるように心がけています。</li> <li>◆叶便りがそれにあたると思われる。</li> <li>◆令和6年度はInstagramの定期的な発信と、療育内容を全体的に周知してもらえるように、会報誌も定期発行したいと思っています。</li> </ul>

明責任等		個人情報に十分注意し、適切に対処している	A	◆発言内容で個人が特定されないよう、外部内部問わず、児童・スタッフの情報の取り扱いは十分に気をつけている。また、会議などで個人ファイルを持ち出す際には必ず他のスタッフに伝え、誰が持ち出したかを目視でも確認しあっている。
		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	A	◆保護者の引き続きの中で、聞き出している ◆研修でも行っているが、その子が何を考え、何を思っているのか、感情の動きを行動からも捉えられるように切磋琢磨している。そのために必要なツールを都度その子に応じて準備したり、こちら側の心を整えることを意識している。
	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	A	◆ふれあい市を毎月第2日曜に開催し、地域貢献している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	B	◆マニュアルは、周知するように考え、定期的に勉強会などで行うと、慌てなくて良いと思います。 ◆事業者の目につきやすいところに、マニュアルを張り出しいつでも確認できるようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	B	◆訓練は、自閉の児童などには視覚で、絵カードなどで理解をしてもらい行動に誘導する。 ◆1年間に2回行う、実際に消防車、警察官などに依頼して、実際に見て勉強して行きたい 年一回ごとの防災・防犯訓練を児童と一緒にしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	A	◆虐待の研修してからは、(なにが? どうやったら虐待なのか) 頭によく考えて行動に至っています スタッフ間でも声掛けあったりしています。 ◆毎月のスタッフ研修で受講した虐待防止研修がそれにあたると思われる。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	B	◆児童によっては記載しているという状況です。 ◆実際に危機感を持った時には、どうしても～しなければならない時に即、上司に報告をしています。そんな虐待が起こらないような、支援、環境設定、～こんな風に起こりうる予想を頭を働かせ児童とスタッフの安全を心に留めて支援していきたい。 ◆スタッフ研修内での周知や、身体拘束を行った場合には、時系列と要因、その時及び今後の対応を保護者にお伝えすることを常に認識している。